

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	名古屋水域研究会	
まちづくり活動名	舟遊びによる水辺の活性化	
活動地域	名古屋市内の河川や周辺水域	
活動の背景	現在年間 1.7 億人が往来する東海道。最大の宿場町「宮」と「桑名」は東海道唯一の海路「七里の渡し」で結ばれていた。東海道最大の宿場町「宮」と「桑名」を結ぶ唯一の海路「七里の渡し」は愛好者が多いが堀川・中川運河からの利用が出来ず利便性が不足している。	
目的・目標	<p>■目的 市街地から気軽に利用可能な舟運遺構の活用(堀川) 名古屋市・周辺水域の就航可能性具体的検討</p> <p>■目標 舟運遺構からの乗下船体験の継続 宮の渡しHP等での希望者への案内</p> <p>■成果 舟運・水辺利用の促進、街道愛好家への情報提供</p>	
活動内容	<p>R 2 実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾、河川管理者のヒアリング ・堀川の舟運遺構での乗下船実験、綱取り講習(乗降機能・安全確認) ・舟運遺構の現状・保全状況調査(所有者の保全意向確認) <p>R 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀川の舟運遺構と、周辺での乗下船体験 ・庄内川での乗下船実験(安全確認) ・堀川の舟運遺構(木挽町通)の清掃、土砂除去、保全方法の検討 ・堀川の舟運遺構(山王)現状・保全状況調査(所有者の保全意向確認) ・堀川の舟運遺構(木挽町通)からの乗船案内HP作成 <p>R 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀川の舟運遺構と宮の渡し航路を通じての運航実験 ・堀川の舟運遺構の清掃、土砂除去、保全方法の確認 <p>R 5～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀川の舟運遺構(木挽町通)の清掃、土砂除去、保全活用 	
活動予定期間	R 2 年 7 月 ～ R 5 年 3 月	
助成金交付申請額	100,000 円	<p>※1回目(上限5万円)</p> <p>※2回目、3回目(上限10万円)</p>

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>堀川まちネットなどの地元関係者の清掃などもあり、宮の渡しは（毎年堀川まちネットが催行）維持されているが現在は常設の渡し舟はない。街道愛好家は東海道唯一の海路を気軽に楽しめないという声が多く、堀川は名古屋駅から至近にありながら、木曾谷から桑名経由で名古屋城下に堀川で運ばれた歴史も感じてもらえず観光資源としてもったいない。木造で再建する名古屋城には堀川を使った材木が使われないのは悲しい。堀川にある舟運遺構は消失しつつあり乗下船機能など具体的な接岸乗船等が長年行われておらず、備船による試乗等が必要である。</p>	
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>R2の活動で舟運遺構(木挽町通)については接岸乗下船が確認できた。また所有者から「川に向けた扉と乗下船機能を(自分の代だけは)残していきたい。」との意思を頂いた。堀川まちネット、あつた宮宿会、桑名七里の渡し関係者と、ゴンドラと堀川水辺を守る会、堀川フラワーフェスティバル関係者からも賛同を頂いたので舟運遺構からの乗下船を広げていきたい。まちづくり助成団体からも好評だったのでクローズドながら体験者を増やしてコロナ収束後に備えたい。</p> <p>今回は堀川から庄内川新川(中川区・港区)の舟運遺構への航行実験を企画している。</p>	
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <p>堀川や中川運河など水域を軸として、名古屋駅や名古屋城、円頓寺、納屋橋など堀川周辺の拠点と、熱田、港の結びつき、伊勢神宮信仰など広域な広がりを持っている。全国の街道文化愛好者にもHP発信浸透することで新しい名古屋の観光資源を増加できる。特に舟運遺構の活用、歴史的土木施設でもある堀川、中川運河ほかの河川も併せて舟めぐりすることで、名古屋市都市計画、社会資本ストックの重要性への理解が深まる。水辺の繋がりを軸にまちづくり団体と一体的な情報共有、催事運営やコンソーシアム化もできる。</p>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
堀川まちネット あつた宮宿会 名古屋SUP推進協議会 ゴンドラと堀川水辺を守る会 名古屋堀川ライオンズクラブ 名古屋ボート協議会 河川管理者(国縣市)・港湾管理者(名管)	実行時の協力体制(情報共有・参加) まちづくり・街道愛好家への訴求 水面利用者への訴求 許認可手続き

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2020	4	現場視察 航路管理者あいさつ	堀川・庄内川
	5	資料作成 清掃活動	中流部（沖正商店）打合せ 堀川
	6	名古屋市打合せ 航路管理者届け出	スケジュール確認打合せ
	7	関係者打合せ 事前現地調査 清掃活動	関係者試験航行（場合により9月） 堀川
	8		
	9	航路管理者届け出 清掃活動	関係者試験航行（場合により7月） 堀川
	10	体験航行 （堀川～庄内川）	試験航行
	11	体験航行 （堀川～庄内川）	予備日
	12		反省会 課題抽出 次年度企画確認
2021	1		反省会 課題抽出 次年度企画確認
	2		
	3	とりまとめ	次年度企画計画

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000
活動経費の内訳	謝金	現地立合 説明	倉庫 現地立合 説明謝金	5,000
	物品費	清掃用具 船具	清掃用具、船具、作業手袋等	10,000
	賃借費	チャーター船	12名 船頭付き 可航確認 7月または9月 体験運航 10月	70,000
	印刷費	印刷 HP作成	コピー代、電子ファイル作成 看板、案内資料作成	15,000
	消耗品費	ヒアリング用品	レポート用紙等、ボールペン、 インダー・防水ケース、便箋封筒、 茶菓子、飲料等	3,000
	通信費	事務連絡	宅急便、切手等	2,000
	支出合計			

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。